

# 資源循環型社会めざして ともにつくる「エコロジータウンうちこ」



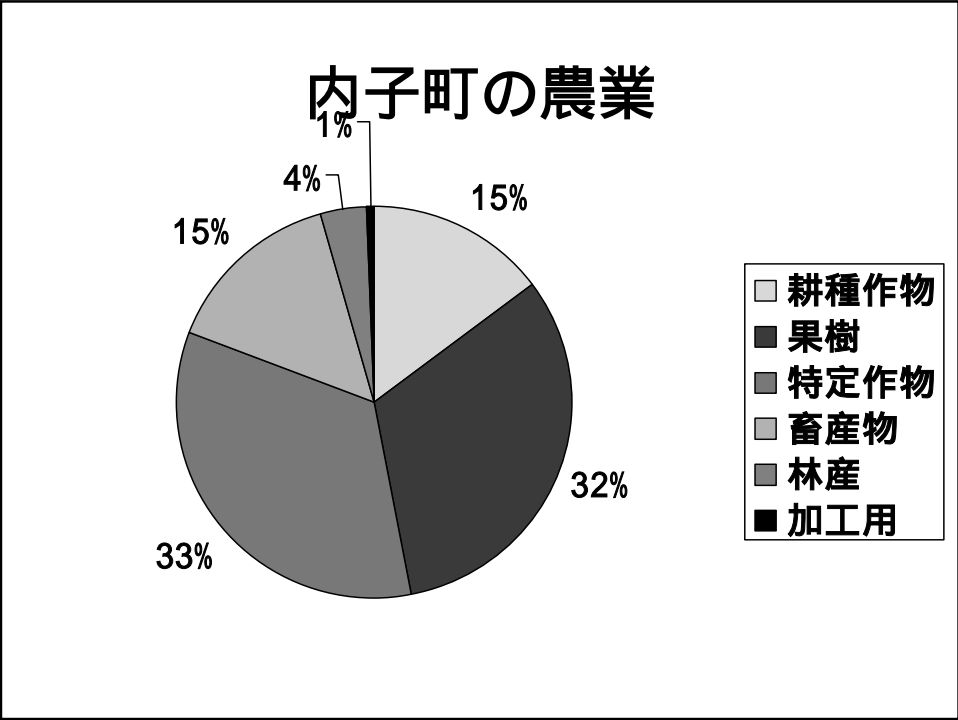
## 内子町の概要 住み甲斐のある地域をめざして

農家戸数  
専業 272戸  
1兼 203戸  
2兼 851戸

面積 121.17km<sup>2</sup>  
人口 男 5,341人  
女 5,890人  
合計 11,231人

就業人口  
1次 1,426人  
2次 1,705人  
3次 2,571人





### JA愛媛たいき内子堆肥センターの概要

**堆肥センター見取図**

名称	規模・内容	新規・既存の別
製品保管棟	建物 鉄骨・平屋 257㎡ 1棟	既存
オガクズ置き場	建物 鉄骨・平屋 133㎡ 1棟	既存
第1次発酵処理施設	建物 木造・平屋 1,025㎡	1棟 既存
第2次発酵処理施設	定置供給装置・フルイ機	1機 新規
	袋詰め機	1機 新規

平成14年度生産振興総合対策事業  
 総事業費 137,896,500円  
 原料: 畜糞2,586トン 生ゴミ511トン(2,200世帯)  
 生産堆肥: 1,352トン

## 内子堆肥センターの特徴



生ゴミ関連設備の費用として  
内子町助成金 平成14年度 12,351千円  
15年度以降 21,115千円

## 内子堆肥センターの特徴



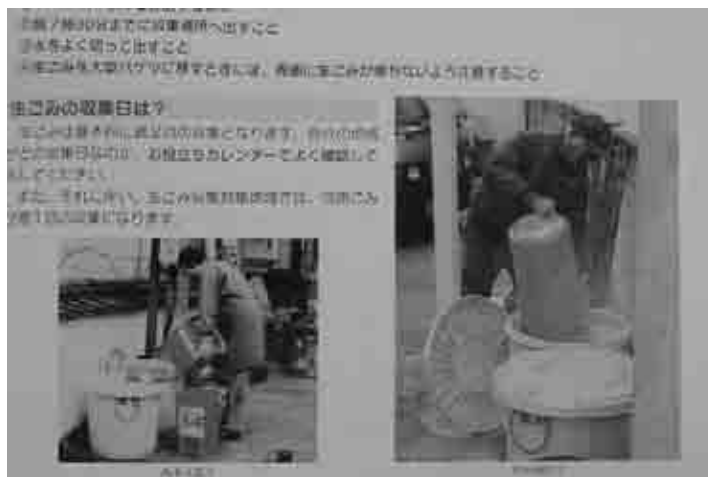
堆肥の15%を炭化し堆肥に混ぜる  
炭の混入で土壌改良に相乗効果

## 内子堆肥センターの特徴



エコパワーは、道の駅「からり」でも販売

## 生ゴミ分別収集の方法



町内60カ所にステーションを設置し80リットルのバケツを配備  
20リットルの家庭用水切りバケツを2200世帯に配布  
1世帯あたり週2回収

## 生ゴミ分別収集の方法



## 生ゴミの臭い防止



生ゴミ臭いと腐敗防止のため、環境浄化微生物「ひめ」-1」を活用  
町が培養し、自治会を通じて配布

## 新しい堆肥「エコパワー」の活用



「からり」生産者を中心とした堆肥の利用促進  
安全ブランドの確立

### 「からり」生産者を中心にした堆肥の利用促進

- 土壌診断の徹底 → 化学肥料の過剰施肥を防止する
- 生産履歴の記帳と開示システムの確立 → 農家の安全意識の強化
- 内子町独自の認証制度の立ち上げ → 小回りの利く認証
- 残留農薬の分析と結果の開示 → 安全農産物の追求



## 資源循環型社会を目指して



